

## 慶田收先生のご退職によせて

経済学部長 坂 上 智 哉

慶田收教授は、2021年3月をもって経済学部を定年退職されました。ここに長年にわたる熊本学園大学および経済学部に対する先生のご貢献に感謝の意を表する次第です。

慶田先生は長崎県島原市のお生まれで、1979年九州大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得退学され、九州共立大学講師を経て81年に熊本商科大学（現、熊本学園大学）経済学部講師として本学に着任されました。以来長きにわたり本学の教育と研究に情熱を注いでこられました。イリノイ大学アーバナシャンペーン校での在外研修後の1991年には教授に昇格され、国際経済学科長、海外事情研究所所長、大学院経済学研究科長などの役職を歴任し、学部ならびに大学の発展に寄与されました。

慶田先生のご専門は都市経済学で、なかでも一般均衡分析の枠組みでの都市経済学の精緻化とその位置づけを明らかにされてきました。この研究の到達点の1つは、「選択可能な経済環境のもとでの市場均衡—生産と消費からなる経済の場合—」（『熊本学園大学経済論集』第14巻第1・2・3・4合併号、2008年3月）に示されています。それ以前のご研究で、経済環境を所与とした純粋交換経済での均衡解の存在証明を示され、次にあらゆる経済環境（人口）のもとで均衡解の存在を確認されていますが、この研究では、その経済に生産を組み込んだより一般的な状況における市場均衡の存在を証明されています。この一連のご研究で特に重要と思われるのは、経済環境を都市経済に対応させることで、さまざまな人口規模を持つ都市経済においても市場均衡が存在することを明らかにされた点であると思います。

次に教育面では「ミクロ経済学」や「公共政策」といった、経済学部のコア科目を中心に講義を担当してこられました。穏和な口調でわかりやすい講義に加え、先生が執筆されたテキストは学生から高い評価を得ていました。また、かつて国際経済学科で取り組んでいた海外研修では何度も学生の引率を引き受けていただきました。このように経済学部、特に国際経済学科の発展に大きく貢献され、先生の長年にわたる取り組みは今日の経済学部へと引き継がれています。

最後になりましたが、慶田先生のこれまでの教育と研究へのご尽力に感謝するとともに、今後はなにとぞ健康に十分留意されて、これまで以上にご活躍されることを祈念いたしまして、退職記念号によせる言葉といたします。